



長き医療人生の助言を得るために

評者 鍋島茂樹 福岡大学医学部 教授/福岡大学病院 総合診療部 診療部長

ウィリアム・オスラー (William Osler) は 1849 年に英国領カナダに生まれ、米国に活躍の舞台を移し、1919 年に英国で没した医学界の巨人である。青年時代より、病理学・生理学・内科学の分野で活躍し、「血小板の機能」「マラリアの病型分類」「Osler 結節」や「Osler 病」をはじめとする膨大な数の業績を残している。彼のもう 1 つの偉大な業績は、現代に通じる医学教育の基礎をつくったことである。彼は、講義棟から学生を連れ出し、実臨床の場で“生身の患者”を通じて学生を教えた。

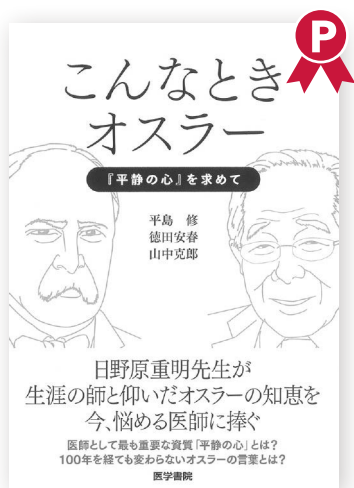
オスラーは、研究にひたすら没頭する冷徹な学者ではなく、多くの英雄が備える徳性を豊かにもっていた。すなわち、快活さ・実行力・ユーモア・リーダーシップ・溢れる愛情といった徳である。当時も、そして現在においても、その人格は多くの人を魅了してやまず、今もって全世界に「オスリアン」と呼ばれる信奉者を生み出し続けている。

日本が誇る総合診療医たちがオスラーの金言を解説

本書は、日本のオスリアン 3 名が分担して書き上げた本である。徳田安春氏・山中克郎氏は“ドクター G”としても知られるベテランの総合診療医、また平島修氏は「身体診察の達人」として知人ぞ知る若き総合診療医である。本誌に 2 年間にわたって連載された企画だ。

オスラーには『平静の心—オスラー博士講演集 新訂増補版』（医学書院、2003）という有名な講演集があるが、本書はそれぞれの著者が『平静の心』に出てくるオスラーの金言をとり上げて解説したものである。しかし、ただ解説するだけでなく、さすがドクター G だけあって、エンターテインメントを意識した面白いプレゼンテーションとなっている。「Case」として患者の病状を説明したあとで、その答えとなるようなオスラーの言葉を紹介し、著者がそれに解説を加えていく、というユニークな構成である。

本書をすべての年代の人に薦めたい。若い人は今後の長き人生の助言を得るために、そしてベテランの先生は医の原点に立ち返るために。オスラー博士の言葉は、すべての医療人の疲れた心に豊かな癒やしを与えてくれるだろう。⑥



こんなときオスラー

『平静の心』を求めて

平島 修、徳田 安春、山中 克郎=著

定価：本体 2,400 円＋税
A5・200 頁／医学書院／2019
[ISBN978-4-260-03692-4]